

号外

沖縄タイムス
OKINAWA TIMES

2014年(平成26年)
12月14日 日曜日

発行所 那覇市久茂地2丁目2番2号
(郵便番号900-8678) 沖縄タイムス社
電話代表(098)860-3000

照屋氏当確

2区 辺野古「反対」



手を振って声援に応える照屋寛徳氏。2日、宜野湾市・長田交差点

第47回衆院総選挙は14日
投票され、沖縄2区で社
民前職の照屋寛徳氏(69)の
5期目の当選が確実となっ

た。1996年に小選挙区
制度が導入されて以降、県
内で5期連続で選挙区を制
したのは照屋氏が初めてと

なる。
沖縄2区は前回2012
年に続き、照屋氏と自民前
職の宮崎政久氏(49)が公明

推薦の一騎打ちの戦いと
なっていた。

照屋氏は主要争点の一
つとなった米軍普天間飛
行場返還問題で、名護市辺
野古移設反対の立場を主
張。11月16日の知事選で辺
野古反対の翁長雄志新知
事を誕生させた「建白書」
勢力の枠組みを生かし、従
来の革新支持層に加え、保
守支持層からも一定の支
持を集めて当選を果たし
た。

安倍晋三首相が解散の理
由の一つとする消費税10%
の先送りをめぐっては、増
税自体に反対の立場を主張
していた。

照屋寛徳(てるや・かんとく)
1945年7月生まれ。うるま市(旧具志川市)
出身。68年琉球大学法文学
部卒。72年弁護士登録。県議
2期、参院議員1期を経て
2003年に衆院議員初当
選(4期)。03〜05年社民党
副党首、10年〜党国会対策
委員長。

詳しくはあすの紙面、電子新聞 <http://www.okinawatimes.co.jp> でお読みください。

電話0120-21-9674

特集

2014年衆院選

政策アンケート



照屋寛徳氏

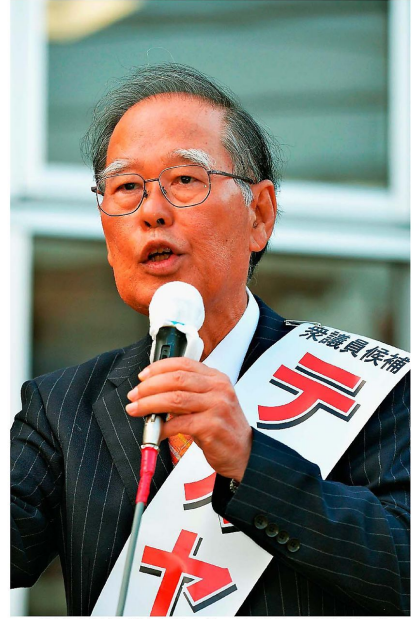
安倍政権の評価	0点
解散の妥当性	妥当とは思わない
首相・閣僚の靖国参拝	×
翁長新県政への立場	協力的
普天間飛行場の辺野古移設	×
普天間飛行場返還の解決法	県外・国外
普天間返還が遅れている理由	県内移設の条件付きだから / 日米両政府が辺野古に固執するから / 本土で受け入れの意思を示す都道府県がないため
オスプレイ配備	×
与那国への自衛隊配備	×
憲法解釈変更による集団的自衛権の行使	×
憲法改正	×
憲法9条改正	×
特定秘密保護法	×
一括交付金の評価	8.5点
カジノ導入の賛否	×
消費増税の賛否	×
改正生活保護法への賛否	×
原発政策	時間をかけて段階的に廃止
TPP参加の賛否	×

○：賛成 ×：反対 ーは無回答

支持者と抱き合う照屋寛徳氏＝4日、宜野湾市・ジュピランス



総決起大会で支持者らと氣勢を上げる照屋寛徳氏（壇上中央）＝宜野湾市・ジュピランス



「沖縄の声を国政に届けよう」と訴える照屋寛徳氏＝6日、浦添市伊祖

照屋氏、政権に「0点」

照屋寛徳氏の主な政策について、沖縄タイムスが実施し、本人が回答したアンケートから紹介する。

■普天間・安全保障

照屋寛徳氏は、普天間飛行場返還の解決法について「基地負担は我慢の限界を超えている」

と訴え、県外・国外移設を主張してきた。オスプレイ配備についても「民意を無視して強行配備された」として反対している。自衛隊の与那国配備について

は「周辺諸国との緊張を高める」と反対の立場だ。

■政権評価・政治姿勢

安倍政権について照屋氏は「国民無視の政権運営だ」と酷評し、0点を付けた。

首相・閣僚の靖国神社参拝については「国際社会を無用に刺激し政教分離の原則にも反する」と指摘、評価していない。翁長新県政については「沖縄

■沖縄振興・カジノ

一括交付金について、照屋氏は85点と高得点を付けた。「自由度が高く自治体の主体的な事業展開が可能になった」と評価している。

カジノ導入について照屋氏は「借金や失業など負の側面が多い」と反対する立場をとっている。



選挙カーから手を振る照屋寛徳氏＝2日、宜野湾市・長田交差点

特集